

■ぜん息について

* 8 この1年間に学童クラブ内でぜん息発作を起こした子どもがいましたか？

- はい
 いいえ

* 9 【No.8で「はい」と回答した施設】

ぜん息発作のうち、最も重症だった状況に近い発作はどれですか？

- 小発作 : 咳込みが強い、少し息がゼーゼーする、呼吸は苦しそうであったが横になることはできた
 中発作 : 息が明らかにゼーゼーヒューヒューしていた、呼吸が苦しそうで座った状態を好んだ（横になることを嫌がる）
 大発作 : 呼吸が非常に苦しうだった（歩けない、話せない、横になれず前かがみになりがち）

■食物アレルギー・アナフィラキシーについて

* 10 学童クラブ内で食べ物を提供していますか？

- はい（季節等のイベント時のみの提供や自宅からの持参を含む）
 いいえ

* 11 【No.10で「はい」と回答した施設】

提供方法について該当するものを選んでください。（複数選択可）

- 施設内（関連施設を含む）で調理したものを提供
 店舗等で購入してきたもの（個別容器包装された食物アレルギー表示のある加工食品）を提供
→ 弁当類 菓子類 飲料 その他（ ）
 中食※の食べ物を提供

※中食：店舗で調理・加工されたものを、店舗外（家庭など）で食べる形態の食事
（例：デリバリー（宅配・出前）、惣菜店、弁当屋、パン屋など）

- 子どもが自宅から持参
 季節等のイベント時のみ提供（調理・購入を問わず）
 その他（ ）

* 12 現在、アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を処方されている子どもはいますか？ ※令和6年10月1日現在

- はい（ ）人
 いいえ
 把握していない

* 13 【No.12で「はい」と回答した施設】

学童クラブでエピペン®を預かっていますか？

- はい（ ）人
 いいえ

* 14 【No.13で「いいえ」と回答した施設】

エピペン®の持参有無の確認を行っていますか？

- はい
 いいえ

* 15 【No.14で「はい」と回答した施設】

エピペン®の持参状況の確認方法を選んでください。（複数選択可）

- 本人に口頭で確認
 エピペン®の実物を直接見て確認

* 16 日頃、食物アレルギーの事故防止対策を行っていますか？

- はい
 いいえ

* 17 【No.16で「はい」と回答した施設】

実施している対策の内容を選んでください。（複数選択可）

- アレルゲンフリーの食品の選択や提供
 食べ物の受け渡し時の確認の徹底、専用食器の使用等
 間食（おやつ）は各自で自宅から持参
 子ども同士でおやつを交換をしないよう指導
 許可なく食べ物を子どもに渡さないよう職員やスタッフ（ボランティアを含む）に指導
 子どもへのアレルギーに関する教育・指導
 その他（ ）

* 18 この1年間に、学童クラブ内で、食物アレルギー症状が起きたことがありましたか？

- はい ⇒ 発生回数（ ）回
 いいえ

* 19 【No.18で「はい」と回答した施設】

この1年間に食物アレルギーの症状が出た子どものうち、「初発」※の子どもはいましたか？

※初発：症状が出る前に原因食物と診断されておらず、初めて症状を経験した場合

- はい ⇒ 発生回数（ ）回
 いいえ

* 20 【No.18で「はい」と回答した施設】

この1年間に食物アレルギーの症状が出た子どものうち、「誤食」が原因の子どもはいましたか？

- はい ⇒ 発生回数（ ）回
 いいえ

* 21 【No.20で「はい」と回答した施設】

「誤食」の原因として考えられることを選択してください。（複数選択可）

- 職員・スタッフ間で情報が共有されていなかった
 保護者から必要な情報を得ていなかった
 誤配膳（食べ物を提供している場合）
 他の子どもの食べ物を食べたり触れたりした
 原材料表示の見落とし
 自宅から持参した食べ物
 その他（ ）

* 22 この1年間に、学童クラブ内で、食事が原因のアナフィラキシー※が起きたことがありましたか？

※アナフィラキシー：急速に進行する重篤なアレルギー症状で、皮膚・粘膜・消化器・呼吸器などの複数の臓器に全身性に症状がみられて症状が急速に進行してくる状態

- はい ⇒ 発生回数 () 回
 いいえ

* 23 【No.22で「はい」と回答した施設】

この1年間に施設内で、食物が原因のアナフィラキシーで最も重かった症状に近いものを1つ選択してください。

- 軽度：軽度のかゆみ、数個のじんま疹、部分的な赤み、目のかゆみ・充血、口の中の違和感、唇の腫れ、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、吐き気、軽いお腹の痛み（我慢できる）
 中等度：強い痒み、全身に広がるじんま疹、全身が真っ赤、顔全体の腫れ、まぶたの腫れ、中等度のお腹の痛み、1～2回のおう吐、1～2回の下痢、1～2回の軽い咳
 重症：持続する強い（我慢できない）お腹の痛み、繰り返し吐き続ける、のどや胸が締め付けられる、声がかすれる、犬がほえるような咳、息がしにくい、持続する強い咳込み、ゼーゼーする呼吸、ぐったり、意識がもうろう、尿や便をもらす、脈が触れにくくまたは不規則、唇や爪が青白い

* 24 【No.22で「はい」と回答した施設】

アナフィラキシーが発生したとき、どのように対応しましたか？ あてはまるものをすべて選択してください。（複数選択可）

- 安静にさせ経過観察を行った
 対応できる職員を集めた
 保護者へ連絡した
 かかりつけ医や嘱託医等に連絡をして指示を受けた
 医療機関を受診した
 持参薬を内服させた
 アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を使用した
 救急車を要請した
 その他 ()

* 25 【No.22で「はい」と回答した施設】

アナフィラキシーが発生時に役に立ったものを選択してください。（複数選択可）

- 東京都「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」（小冊子）
<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/allergy/pdf/pri06.pdf>
 東京都「緊急時対応ガイダンス」（音声・動画）
<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/allergy/measure/guidance.html>
 東京都「子供を預かる施設における食物アレルギー日常生活・緊急時対応ガイドブック」（冊子）
https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/allergy/pdf/pri05_zenbun.pdf
 緊急時を想定したシミュレーション訓練
 かかりつけ医・嘱託医等への相談
 職員・スタッフ間の連携
 消防機関との連携
 保護者との連携
 その他 ()

* 26 この1年間に、アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を学童クラブ内で使用したことがありましたか？

- はい ⇒ 使用回数 () 回
 いいえ

* 27 【No.26で「はい」と回答した施設】

アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を打ったのはどなたですか？

- 子ども本人
 職員・スタッフ
 保護者
 救急救命士
 その他 ()

* 28 現在、学童クラブ内に「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」※と診断されている子どもはいますか？

※令和6年10月1日現在

※食物依存性運動誘発アナフィラキシー：特定の食物を摂取した後に運動をすることによってアナフィラキシーが誘発される病態。食べただけでは症状を起こさず、食後に運動が加わることによって起こる。

- はい () 人
 いいえ
 分からない・把握していない

* 29 【No.28で「はい」と回答した施設】

この1年間で、学童クラブ内で「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」※の症状を起こした子どもはいますか？

※食物依存性運動誘発アナフィラキシー：特定の食物を摂取した後に運動をすることによってアナフィラキシーが誘発される病態。食べただけでは症状を起こさず、食後に運動が加わることによって起こる。

- はい () 人
 いいえ

■学童クラブにおける取組について

* 30 配慮や管理が必要なアレルギー疾患を持つ子どもの対応について、実施している取組内容を選択してください。（複数選択可）

- 子どものアレルギー情報の収集・把握
- 保護者との面談（具体的な対応についての確認）
- 個別の具体的な対応方法の作成・共有
- 学校との連携・情報共有
- 情報提供や申告があった場合のみ、対応に配慮する
- その他（ ）

* 31 日頃、学童クラブにおいて、アレルギーの対応ガイドラインやマニュアルを備えていますか？

- はい
- いいえ
- 分からない・把握していない

* 32 【No.31で「はい」と回答した施設】

学童クラブ内で日頃備えているものを選択してください。（複数選択可）

- 学童クラブ（または所属会社）で独自に作成したガイドラインやマニュアル
- 区市町村が作成したガイドラインやマニュアル
- 東京都「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」（小冊子）
<https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/allergy/pdf/pri06.pdf>
- 東京都「子供を預かる施設における食物アレルギー日常生活・緊急時対応ガイドブック」（冊子）
https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/allergy/pdf/pri05_zenbun.pdf
- 文部科学省（日本学校保健会）「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」（冊子）
https://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook_R010060/R010060.pdf
- その他（ ）

* 33 学童クラブ内でアレルギー対応に関する担当者を決めていますか？

もし、決めている場合は、主な担当者としてあてはまるものを選択してください。

- はい
 - 学童保育指導員
 - 放課後児童支援員
 - 施設長等の管理者
 - 看護師
 - 栄養士
 - その他（ ）
- いいえ

* 34 学童クラブ内でアレルギー対応の検討や共通理解を図るための会議体を設置していますか？

- 単独で設置している
- 既存の会議体等を活用している
- 設置していない

* 35 【No.34で「いいえ」と回答した施設】

会議体を設置していない理由について、あてはまるものを選択してください。（複数選択可）

- 役所や所属会社で会議体を設置し、対応を検討しているため
- 個々の子どもの状況によって個別に対応しているため
- 専門職（看護師、保健師、栄養士等）がない
- 他の業務が忙しい
- 必要性を感じない
- その他（ ）

* 36 直近3年間（令和3年度から現在まで）で、アレルギー疾患に関する研修や講習会（オンライン開催を含む）に参加した職員・スタッフはいますか？

- はい
- いいえ
- 分からない・把握していない

* 37 【No.36で「いいえ」と回答した施設】

参加していない理由について、あてはまるものを選択してください。（複数選択可）

- 研修や講習会の情報・案内が得られない
- 業務が多忙、人手がなく参加できない
- 日程が合わない
- アレルギー疾患をもつ子どもが在籍していない
- 必要性を感じない
- その他（ ）

* 38 食物アレルギーの緊急時対応に関する訓練等を学童クラブ内で行っていますか？

- はい
- いいえ

* 39 【No.38で「はい」と回答した施設】

実施している内容を選択してください。（複数選択可）

- 外部講師を招いた研修・講習
- 緊急時を想定したシミュレーション訓練
- 練習用のアドレナリン自己注射薬（エピペン®トレーナー）を使用した訓練
- 東京都「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」（小冊子）や「子供を預かる施設における食物アレルギー日常生活・緊急時対応ガイドブック」（冊子）を活用した訓練
 - <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/allergy/pdf/pri06.pdf>
 - https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/allergy/pdf/pri05_zenbun.pdf
- 東京都「緊急時対応ガイダンス」（音声・動画）を活用した訓練
 - <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/allergy/measure/guidance.html>
- 緊急時対応に関する動画（DVD、YouTube等）を活用した勉強会等
- その他（ ）

* 40 日頃、学童クラブで災害時の備えとして実施していることを選択してください。（複数選択可）

- ハザードマップや避難場所の確認・把握
- 学童クラブ内で事前の備えや災害発生時の対応について話し合っている
- 役所や所属会社と災害時の対応について話し合って決めている
- 避難訓練
- 食料・飲料水等の備蓄
- 配慮が必要な子どもの災害時対応リストの作成
- 子どもの持病等に応じた必要物品の準備
- 施設内の棚などの転倒防止対策
- その他（ ）
- 特に実施していない

* 41 東京都は、アレルギーに関する総合サイト「東京都アレルギー情報navi.」※を公開していますが、ご存じですか？

※「東京都アレルギー情報navi.」 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/allergy/>

- はい
- いいえ（今回の調査で初めて知った場合を含む）

42 「子どものアレルギー」に関して、保護者に希望することやご意見があれば記入してください。

43 「子どものアレルギー」に関して、医療機関に希望することやご意見があれば記入してください。

44 「子どものアレルギー」に関して、行政（都、区市町村）に希望することやご意見があれば記入してください。

45 その他、日々のアレルギー対応に関して、お困りのこと等があれば記入してください。